

情報公開文書

周南市および新南陽市民病院において「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」

へご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」にご提供頂いた情報・試料を、新たに下記の研究課題に使用させていただきます。「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」においては、複数の地域における腸内細菌叢の比較をすることも目的に実施して参りましたが、周南市のみにおける腸内細菌叢と生活習慣病発症との関連をより深く解析するため、「周南市における微生物叢と生活習慣病発症に関する研究」へ2次利用させて頂くこととなりました。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された情報・試料を下記研究課題に利用・提供してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、情報・試料を下記研究課題で利用することを停止します。

1. 研究課題名

周南市における微生物叢と生活習慣病発症に関する研究

2. 研究責任者

國澤 純：医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト・プロジェクトリーダー

3. 本研究課題の目的

本研究は、周南市において、生活習慣病発症における微生物叢を介したメカニズムを明らかにすることを目的に、健常者～有患者を対象に、糞便および血液試料、唾液を採取し、微生物叢および生理活性物質の解析を行います。併せて食事調査等の生活習慣の調査や生理学的検査、遺伝子解析を行い、宿主の遺伝要因、生活習慣、微生物叢、疾患発症の関連を明らかにします。

4. 対象となる方の試料の収集期間および研究期間

2017年2月から2018年3月までの期間に、周南市および新南陽市民病院において「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」にご同意いただいた方の収集した情報および試料を研究対象としています。

5. 研究の方法

「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」に参加頂いた方の試料・情報を用いて、腸内細菌叢を介した生活習慣病等発症のメカニズムを検討します。用いる試料は、糞便、血液、唾液（一部の方）です。また用いる情報は、質問票により得られた現病歴・既往歴、服薬状況、喫煙、生理状況、睡眠状況、運動習慣などの生活習慣情報と、食事調査の情報、生理学的測定から得られた情報、健診や人間ドックにおいて得られた情報です。これらの試料から得られた分析結果や上記情報を様々

な統計学的手法を用いて、生活習慣－腸内細菌叢－疾患発症との関連が解析されることになります。

6. お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所

ワクチンマテリアルプロジェクト・プロジェクトリーダー

國澤 純

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目6番8号

電話 072-641-9871